

いしかわのICT産業の 成長を目指して！

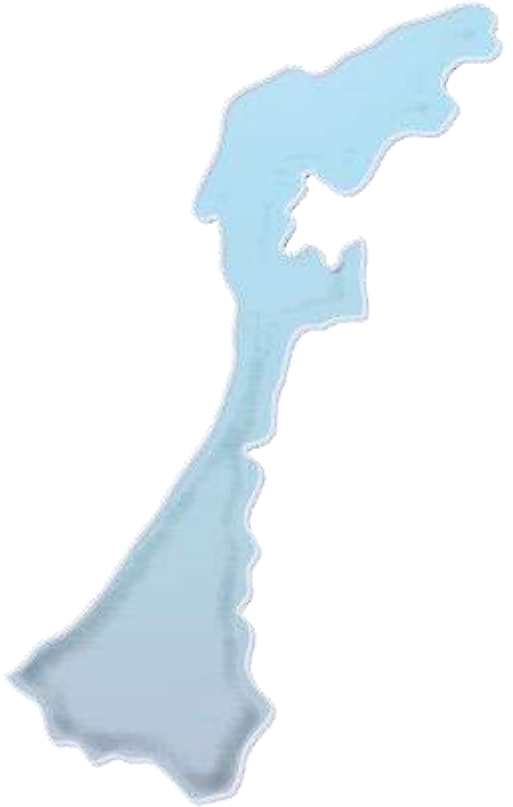
令和 6年10月

一般社団法人石川県情報システム工業会

Our Mission

幸福度日本一の石川を目指して！

～石川をダントツでICTの先進県にします！～



一般社団法人石川県情報システム工業会は、ICT(情報通信技術)産業に携わる企業や団体を会員として、相互協力により、技術力向上や交流機会の提供を通じて、会員各社の資質向上・成長を図り、業界の発展と地域社会全般に貢献することを目的とします。

会長 小清水 良次

主な活動

◎ 地域社会と地場産業のDX化推進

- 最新ICT情報の提供や経営・技術セミナー等の開催
- 日本海側最大規模のIT総合展示会の開催(e-messe kanazawa)

◎ 未来のAI・ICT人材育成による地域の活性化

◎ 行政・大学・支援機関・産業界等との連携

部会活動

会 長
小清水 良次
システムサポート 代表取締役社長

総務部会
部会長: 茂 知一
三谷産業 技術執行役員

企画・経営部会
部会長: 横山 信太郎
横山商会 代表取締役社長

教育・技術部会
部会長: 山浦 伯之
石川コンピュータ・センター 代表取締役社長

広報部会
部会長: 濱田 尚則
アイ・オー・データ機器 取締役

新ビジネス創生部会
部会長: 宮内 康範
PFU 取締役常務執行役員

- ・海外ICT展示会や先進の取り組み視察の企画
- ・若手人材の発掘・育成

- ・地域と地場産業のDX化推進(AI・IOT活用セミナー、ICTコンサル派遣)
- ・ISA DXビジネスプラットフォーム プロジェクト
- ・県内行政機関や中小企業のデジタル化に掛かる事業への協力

- ・工業試験場、大学と連携した会員企業のリスキリング支援
- ・最新・最先端のICT関連技術の勉強会開催
- ・共助のビジネスモデル検討協議会への参画

- ・e-messe kanazawaの企画・実施
- ・I S A 広報活動の推進、HPの充実

- ・AI・ICT人材育成(金沢IT部活・金沢ロボ活の企画・運営、金沢大学融合学域との連携)
- ・ICT技術体験、セミナーの開催

会員企業

会員数：138社(R6年11月1日現在)

情報通信システム関連、情報処理関連産業、通信分野、電子メディア産業、教育産業、印刷・映像産業などのICTに掛かる活動に携わる企業が会員として構成され、多様な分野の各団体とも連携を深めながら活動しています。

ISA DXビジネス プラットフォーム

(略称：ISA DXBP)

I C T 業界環境

ICT業界を取巻く環境

ICT業界は平成30年9月に経済産業省が策定した「DXレポート」では、「ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開」を発表した。2025年には、IT人材不足が進み以下の大きな課題が進み早急なIT業界のDXの本格的展開が必要といわれている。

1

技術請負「保守・運用」に
リソースを割かざるを得ず
最先端技術に対応できない

2

レガシーシステムサポートに
伴う人月商売の請負型業務から
脱却できない

3

クラウドベースのサービス開発・
提供という世界の主戦場を攻めあ
ぐる状態に

**石川県をダントツでI C Tの先進県にする！
ISA会員企業の更なる成長と活性化が必要**

ISA会員企業のための新たな施策が必要

会員企業に向けての新たな提案

ISA会員企業のサービス向上とともに
会員企業の新事業の創出と発展につなげることを狙い、
「ISA DXビジネス プラットフォーム事業」
(略称：ISA DXBP)を展開する

ISA DXビジネス プラットフォーム事業の方針

1. 「DXビジネスプラットフォーム委員会」を発足し、会員企業の成長の場として活動を行います
2. 受託・SESから脱却し「自社プロダクトやサービス化」のためのDX推進を支援いたします
3. 「最新テクノロジーやビジネストレンド」の各種セミナーや技術相談からスタートし、会員の繋がりを強化しながら「新製品、新サービス」の開発を支援いたします
4. ISA会員企業の連携とともに、外部団体や企業などにも協力を得て活動の幅を広げます

ISA DXビジネス プラットフォーム事業

県内自治体

大学・工業試験場等



ISA

**会員企業コミュニ
ティー**

**(ISA DXビジネス
プラットフォーム実行
委員会)**

交流会・勉強会・相談会等
の各種サービス
会員企業同士のノウハウ・
事例共有



**新事業の
創出と発
展のDX
支援**



最新テクノロジー

クラウド・セキュリティ・AI・
IoT（エッジコンピューティング等）

マクニカ



セールス・マーケティング

アライアンス・OEM・パートナーシップ等

パートナー様



ISA
会
員

ISA DXビジネス プラットフォーム実行委員会

役職	氏名	ISA	所属
実行委員長	横山 信太郎	副会長	(株)横山商会 代表取締役社長
実行委員	濱田 尚則	同上	(株)アイ・オー・データ機器 取締役
	山浦 伯之	同上	(株)石川コンピュータ・センター 代表取締役社長
	宮内 康範	同上	(株)P F U 取締役執行役員常務
	福永 泰男	理事	サイバーステーション(株) 代表取締役社長
	山西 幸一	理事	(株)コスモサミット 代表取締役社長

◇最新テクノロジーの動向把握と提供支援をするサービスをスタート。

最先端テクノロジーへの
高い見識・ノウハウを持つ
ICT 商社



地域に密着して
信頼とノウハウを蓄積する
技術者集団



半導体



ネットワーク
セキュリティ



スマートファクトリー



モビリティ
ソリューション



サービスロボット



AI



活動実績

活動日	活動	会場	概要	参加数
2022.9.8	事業説明会	地場産 新館 大ホール	事業概要の説明(キックオフ)	7 8
2022.10.18	インタラクティブ・ミーティング	オンライン	事業に対する意見交換	3 2
2022.11.28	T-1:IoT - ヒアリング	Hybrid(人材育成センター)	IoT関連活動への期待と要望	7
2022.11.28	T-2:Security&Network - ヒアリング	Hybrid(人材育成センター)	Security&Network関連活動への期待と要望	5
2022.11.29	T-3:AI&DataMining - ヒアリング	Hybrid(人材育成センター)	AI&DataMining関連活動への期待と要望	1 2
2022.11.29	T-4:Output&Features - ヒアリング	Hybrid(人材育成センター)	Output&Features関連活動への期待と要望	8
2022.12.22	T-4:スマートグラス体験会	人材育成センター	非没入型スマートグラスの紹介、体験会	1 3
2023.2.16	T-2:セキュリティセミナー	Hybrid(人材育成センター)	セキュリティセミナー	2 3
2023.3.10	T-3:AIセミナー	Hybrid(人材育成センター)	AI全般のセミナー	2 8
2023.7.7	T-3:ChatGPT活用セミナー	Hybrid(人材育成センター)	ChatGPT主体のAIセミナー(教育・技術部会連携)	9 3
2023.12.5	T2:CSPM／SSPMセミナー	Hybrid(人材育成センター)	クラウドシステムベンダー向け勉強会	1 0

ISA DXBPDBの作成と活用

1. データの管理・共有

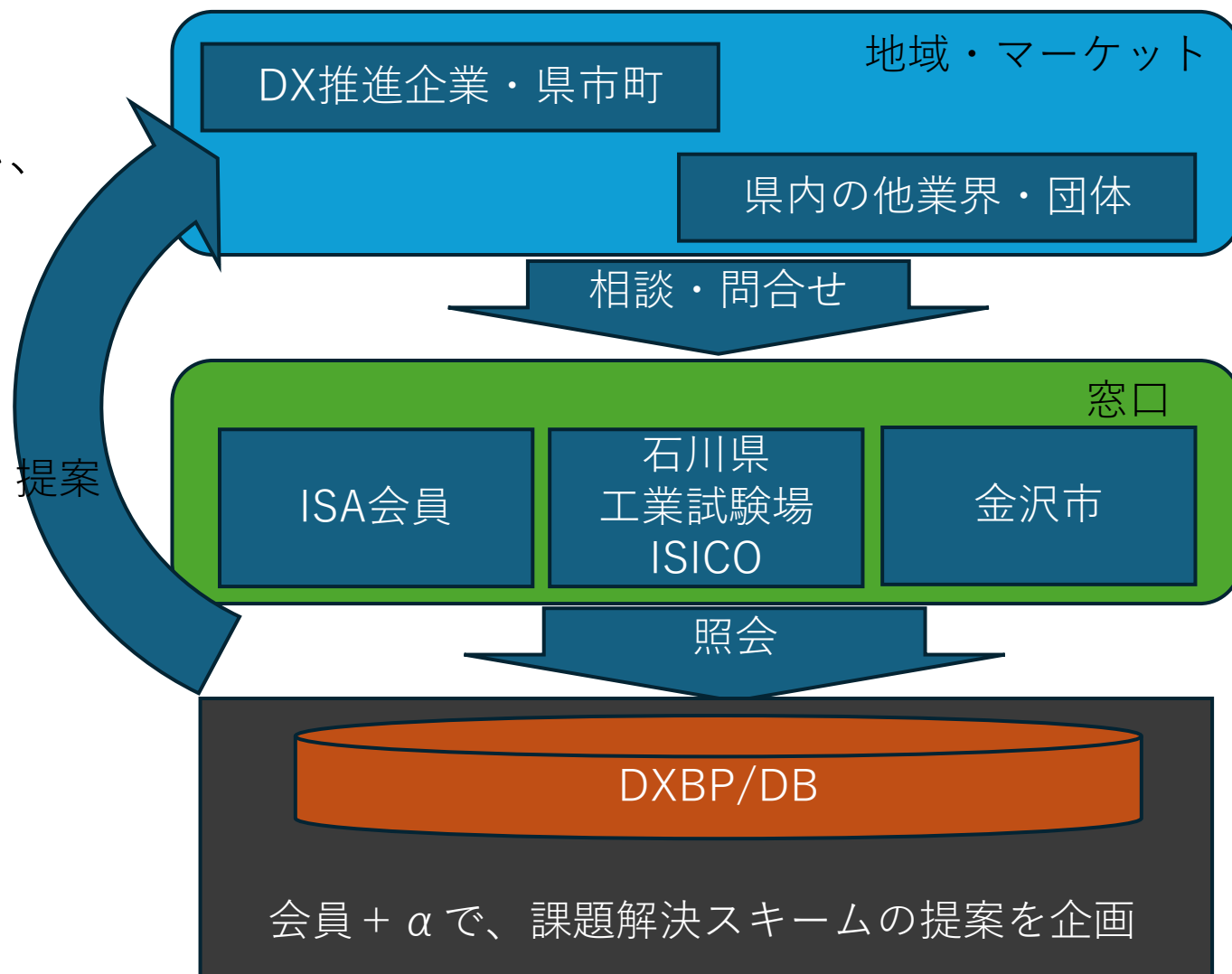
DXBP/DBは、散在するデータを一元管理し、必要な情報を効率的に共有するために使用されアクセスを容易にします

2. データの分類・検索

データを種類ごとに分類し、検索や抽出を迅速に行うことができます

3. ブラウザでの直感的な利用：DXBP/DBシステムはブラウザベースで利用でき、専門知識がなくてもデータを活用できます

4. セキュリティ強化：DXBP/DBにはセキュリティ強化機能が備わっており、データの暗号化やアクセス監視などを通じて情報を保護します



トピックス(成果)と連携強化について

トピックス

- ① 加賀市で自動運転レベル4の公道実証走行を4月に実施

自動運転レベル4対応車両“EVO”による世界最長の公道走行実証

- ② A I とデジタルサイネージを組み合わせた飲食店での
「A I おもてなし店舗」のサービス化の実現

- ③ かほく市役所でのDXデジタルソリューションの活用

書かない窓口の設置

- ④ スマートグラス関連：2社とのPOC実施に向けたパートナー連携

連携強化（課題解決できるベンダーによるチームビルディング）

石川県工業試験場：県内の様々な業種・業界からの課題が集約

金沢市DX相談窓口：個人事業主、中小企業の課題の掘り起こし



金沢IT部活・金沢ロボ活 金沢アカデミーベンチャー

2024年度版

金沢IT部活 実行委員会

<https://kanazawa-it-bukatsu.jp/>



金沢IT部活が目指すこと。

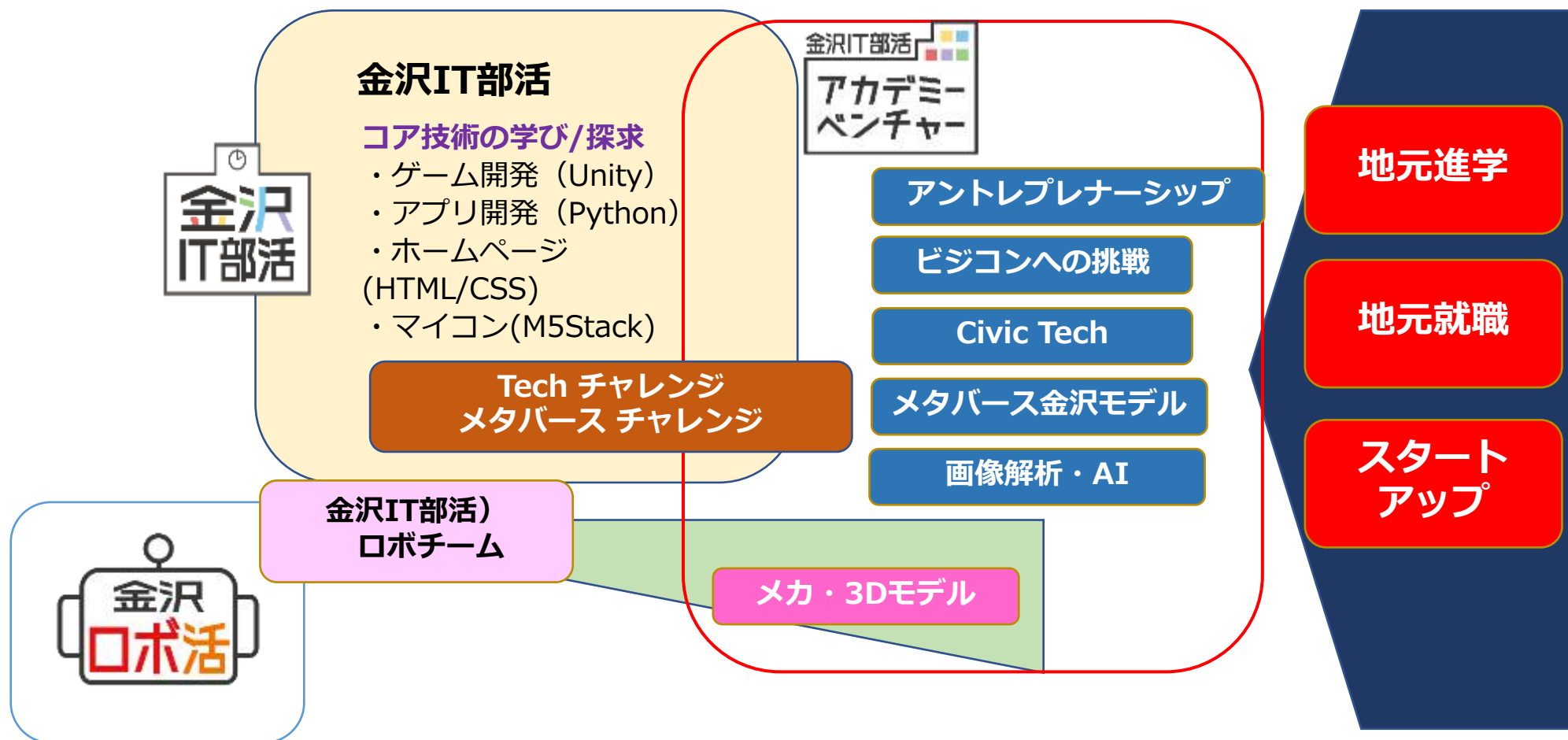
- 金沢市の産学官連携によるデジタル人材育成の実現

金沢ロボ活
：小学生

金沢IT部活
：中高生

アカデミーベンチャー
：卒部生、大学生

金沢
エコシステムへ



1. 金沢IT部活について

- 「金沢 I T 部活」は、第四次産業革命に対応した地域の新産業創出に寄与するために、次世代を担う中・高生を対象として、**新産業を創出するための様々な情報活用能力を育成する**課外活動です。
- 中高生が21世紀の最先端テクノロジー、イノベーション創造、社会課題の解決などを探求し、見える世界を広げたくて、将来のキャリアや進路を設計していく場を提供することを目指します。
- 最先端テクノロジー（A I、ロボット、V R、A R、ドローン等）を使って、「私たちの暮らしをより豊かにするためにはどうしたら良いか？」など、明確な答えが存在しない課題に対して、チャレンジする力をつけ、**課題解決力、思考力、想像力、表現力、協働力、起業家精神、リーダーシップ等、21世紀に必要なスキル**を伸ばしていきます。

2. 顧問・メンター体制／部員数

顧問	くばた あきら 主 久保田 旭（株式会社 PFU） PFU入社37年目ソフト開発エキスパート。		かどや なつき 副 角谷 夏樹（株式会社 PFU） PFU入社24年目 ネットワーク系ソフト技術者。	
メンター	金沢大学	金沢工業大学		
プレミア サポーター	鹿野 利春 様	福島 健一郎 様	福野 泰介 様	松田 孝 様
ゲスト 講師	石川県内外の大学の先生、企業技術者、起業家（ベンチャー）… 等 各ジャンルの講演や体験会・実習など			
部員 19名（中学生12名、高校生7名）（R6年度 10月時点）				

3. プレミアサポーター(2023~)



鹿野 利春

かの としはる

- 京都精華大学メディア表現学部
メディア表現学科メディア情報専攻 教授
- 文科省 高等学校情報科の教科調査官
- 経産省 デジタル関連部活 検討委員会 座長



福島 健一郎

ふくしま けんいちろう

- アイパブリッシング株式会社 代表理事
- 一般社団法人コード・フォー・カナザワ
代表理事
- 一般社団法人シビックテックジャパン
代表理事
- 内閣官房オープンデータ伝道師



福野 泰介

ふくの たいすけ

- 株式会社jig.jp 創業者&会長
- 福井県情報システム工業会 理事
- デジタル庁 オープンデータ伝道師
- 総務省 地域情報化アドバイザー
- IchigoJam 開発者
- 福井県こどもプログラミング協議会 委員
- 金沢市 加能ガニロボットコンテスト実行委員



松田 孝

まつだ たかし

- 元東京都前原小学校校長
- 合同会社MAZDA Incredible Lab 代表
- 総務省地域情報化アドバイザー
- 群馬県ICTイノベーションアドバイザー
- 金沢市プログラミング教育ディレクター
- 小金井市教育CIO補佐官
- 洲本市教育情報化推進委員長

4. 活動概要

- 対象 ■金沢市内在住の中学生、高校生
■金沢市の中学校、高等学校に通う生徒
- 活動日 ■平日
週2日 火・木 18:00～20:00
■休日
第2・第4日曜日 13:30～15:30
- 場所 ITビジネスプラザ武蔵
5階 部室
- 参加費 500円／回（10枚綴り5,000円）
- HP <https://kanazawa-it-bukatsu.jp/top.php>



金沢IT部活 5階部室

5. カリキュラム

IT技術	プログラミング全般、ハードウェア基礎、クラウド、Web技術、AI、AR/VR 等
コミュニケーション	作品アピール力、各種コンテスト等での発表、大学生／企業との共創型アイデアソン,ハッカソン参加 等
ビジネス	統計学、心理学、デザイン、知的財産、商取引法規 企業の意識（リーンキャンパス：事業計画）等
その他	会計、金融(クラファン含)、 最前線で活躍する方のセミナー等

(参考) 主要なプログラミング言語



ホームページ関連



3Dゲーム



3Dモデル



AI、画像処理、ゲーム、ツール



マイコン制御

6. 活動の様子

金沢未来のまち創造館（旧野町小学校）



ドローン研修



スタートアップ研修



AR/VR体験



成果発表会



アイデアソン
ハッカソン





1. 金沢ロボ活について

- 「金沢ロボ活」は、全国・世界規模のロボットコンテスト（WRO/World Robots Olympiad、カニ型ロボットコンテスト）に挑戦し、活躍できる人材の育成を目指します。
- 活動は小学生を対象としますが、小学校卒業後、中学生になっても活動は継続できます。また中学生は金沢IT部活として併部することも可能です。
- 金沢IT部活と同じく、最先端テクノロジー（AI、ロボット、3Dプリンター等）を使って、ロボットはじめ機械の仕組みや機構を学び、チャレンジ精神、課題解決力、思考力、想像力、表現力、協働力を身につけ、21世紀に必要なスキルを伸ばしていきます。



2. 顧問／部員数

顧問

たておか まさき
① 楯岡 将規 (株式会社 PFU)
PFU入社14年目ハードウェア技術者。

くぼいし あきえ
② 久保石 朗恵 (株式会社PFU)
PFU入社22年目 ソフトウェア技術者。

部員 25名 (R6年度 10月時点)

- ・ 小学4年生 5名
- ・ 小学5年生 7名
- ・ 小学6年生 8名
- ・ 中学校1年生 5名





3. 活動概要

対象	■金沢市内在住の小学4～6年生 ■金沢ロボ活卒業中学生
活動日	■平日 自由練習 週2日 水・金曜日 16:00～18:00 ■休日 顧問 週1日 土曜日 9:00～11:30
場所	ITビジネスプラザ武蔵 4階 情報化研修室
参加費	500円／回（10枚綴り5,000円）
HP	https://kanazawa-it-bukatsu.jp/robolab/top.php

4. 2024年度実績（4～9月）

【WRO Japan 2024 公認 石川予選会】

- 石川予選会エキスパート競技 5月26日（日）

戦績 エレメンタリー部門 優勝

（8チーム出場／全12チーム）

ジュニア部門 第5位

（2チーム出場／全17チーム）

【WRO Japan 2024 決勝大会 会場：富山県】

- エキスパート競技 8月25日（日）

戦績 エレメンタリー部門 第6位（全48チーム）

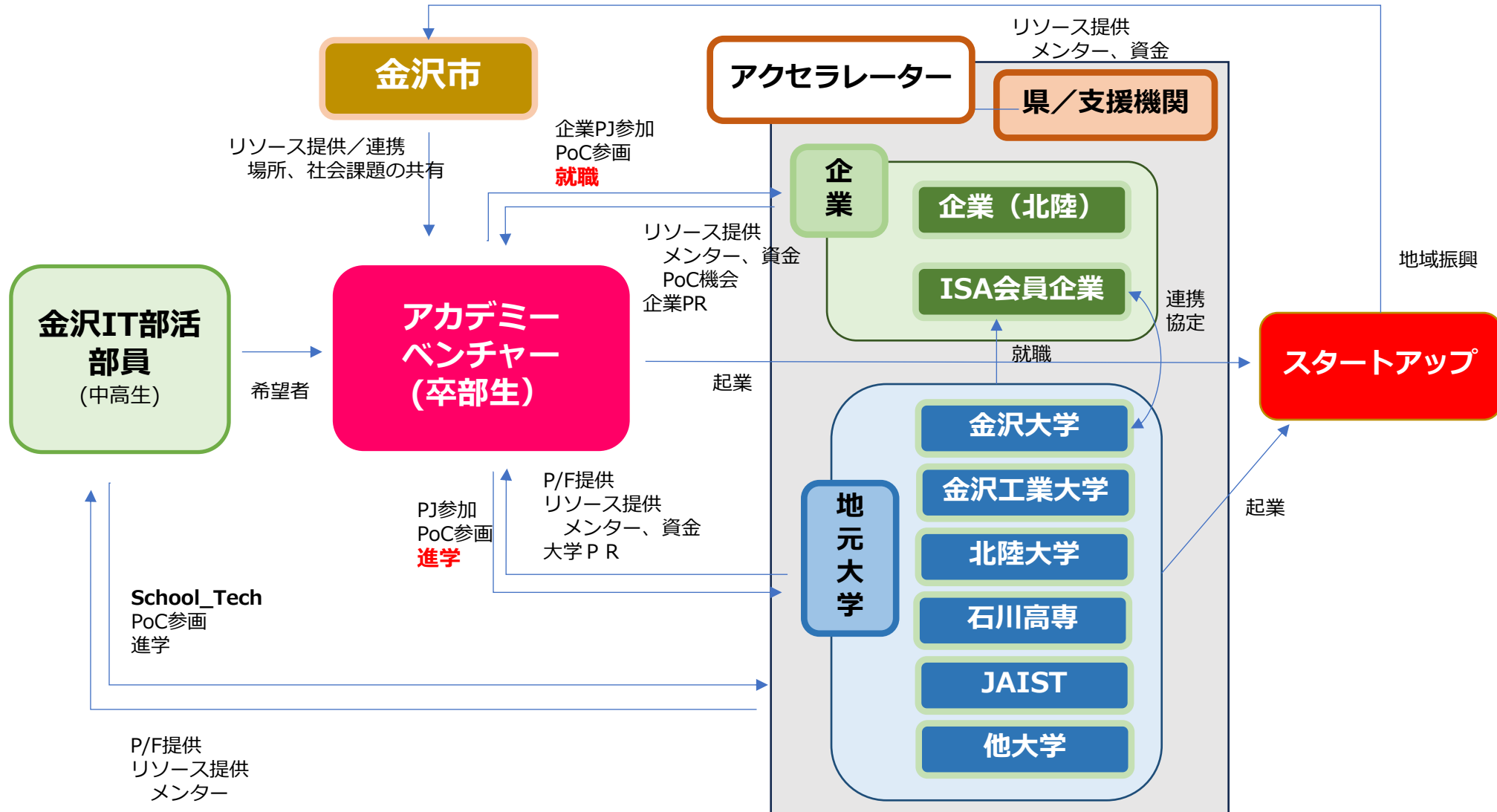


1. 金沢IT部活アカデミーベンチャーについて

- 「金沢 I T 部活アカデミーベンチャー」は、金沢IT部活卒部生×大学生×地元企業からなる共創プロジェクトです。現行技術習得の場に留めず、以下の活動に対し、学生目線で取り組みます。
 - ①新技術の応用/発展性の研究/試作
 - ②課題解決への取り組み
 - ③トレンドや時代先取りしたビジネスを模索
- ポリシーとして、若さ故の夢や理想形な結果であっても、創りあげる過程とその想いを大切にし、大いに期待します。
- 課題解決や新ビジネスにむけたモノづくり、コトづくり、ヒトづくりをチームを組んで取り組みます。

卒部生と大学生アントレプレナーシップ育成PJ (想定するステークホルダーとの相関)

《地域との繋がり》



4. 2024年度の活動内容と状況

- 対象 以下の希望者、希望企業
■金沢IT部活卒部生（高校、大学生）、大学生メンター
■ISA会員企業
- 活動内容 ■企業委託共創テーマ／メタバース／CivicTech 等
- 活動期間 ■初年度9月～翌年3月
- 参加費 学生 無料
企業 協賛金5万円（年度）
- 協賛得点 各所社名ロゴ提示
協賛企業主催イベントの開催可（会社紹介、会社見学 等）
企業広告・資料配布/各種案内掲示（インターン、採用等）

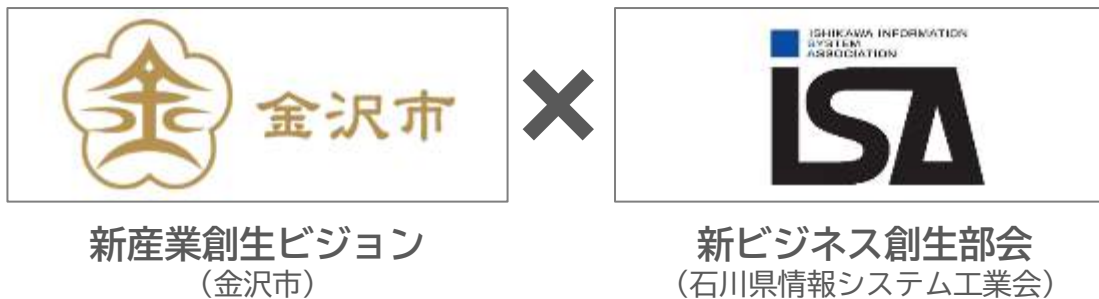


現在活動テーマ ISA会員企業より5社6テーマ

HP <https://kanazawa-it-bukatsu.jp/acaven/top.php>

実施体制

主催



協賛



実行委員会

- ・ 指導・企画運営 : 株式会社 PFU、金沢大学、金沢工業大学
- ・ 企画・運営事務局 : 株式会社 システムサポート



×



KU×ISA

金沢を科学する共創プロジェクト

の概要について

令和6年

国立大学法人 金沢大学 融合学域
一般社団法人 石川県情報システム工業会

理 念

幸福度日本一の石川を目指して！

～石川をダントツでICTの先進県にします！～

石川の豊かな社会を支えるため、ICT産業の発展と地域の振興に努める。

課 題

「産-官」連携はできているが「学」が不足

従来より「産-官」（ISAと石川県/金沢市）の連携は行っているが「学」との連携ができていなかった。



理 念

広範な分野にわたる教養と文理融合の知見を醸成し、課題発見・解決の知を展開することで、地域と世界に貢献する。

目 的

知識集約型社会で中核的リーダシップを発揮できるイノベーション人材の養成を目的する。

<学生数>

※2024.5.1時点（単位：人）

学類	1年生	2年生	3年生	4年生	計
先導学類	53	55	57	65	230
観光デザイン学類	54	22	30	－	106
スマート創成科学類	56	21	－	－	77
合計	163	98	87	65	413

ISAは「官」(石川県,金沢市)だけでなく、新たに「学」のKU(金沢大学)との連携を通じて、社会、地域、および、学生生活をより豊かにすることを大義とし、以下を目的として活動する。

目 的



- 社会課題の解決
- イノベーションの創出、イノベーション・ICT人材育成
- デジタル度の向上 → 幸福度の向上

社会・地域、
学生生活を
より豊かに!

対 象	ねらい(メリット)
金沢大学 (融合学域)	地元貢献(ISA,石川県との連携事業)による融合学域の知名度向上
	産学連携による研究活動の活性化
	ICT人材の育成(特に地元出身学生の育成)
	融合学域学生に対するISA会員企業への就職先斡旋
ISA	金大生がISA会員企業を知り、魅力を感じて就職する
	北陸地域以外へのICT人材流出の防止
	ISAと行政が取り組む地元の課題について、金大生の協力により解決する
	新規ビジネスの立ち上げ(アイデアソン等の実施 等)

対 象	活 動 概 要
研 究	共同研究プロジェクトの立ち上げ 金大(研究所)とISA DXBP実行委員会の共同研究プロジェクト構築 ※研究テーマは金沢市との連携課題 等
地域との連携	「金沢市DX会議での提言」,「次期金沢型教育モデルでの提言」に対するアイデア協力 金大(先生や学生)とISA会員企業がアイデア創出して問題解決 ※2024年度は検討会を中心に進める。
企業人材の育成	ISA企業社員に対し、今の時代に適したリカレント教育 金大で「社会人院生」制度を検討中
交 流	ISA会員企業社員と金大生の交流機会の創出 - ISA会員企業から金大へ講師派遣して勉強会を開催 - 技術テーマ別の金大&ISA社員のコミュニティ(メタバース,生成AI 等) - 情報交換会&懇親会
インターンシップ	ISA会員企業における金大生のインターンシップ受け入れ (融合学域を中心として、技術・ビジネスの両面で) - 金大2年～3年時のアントレプレナー講座へのISA会員企業の参画 - 通常の企業インターンシップ(ISA会員企業向け)

令和5～7年度の取り組み

年度	分 類	活 動 概 要
令和5年度	第一弾 交流イベント	ISA会員企業と金大生のインターンシップに繋がる交流イベントの実施 (ISA会員企業が学生向けに企画)
令和6年度	第二弾 ①大学講義との連携 (インターンシップ等) ②各種交流会 (セミナー、講演会、情報交換会、懇親会) ③共同研究PJキックオフ	①金大2年生の講座連携(アントレプレナー演習) (ISA会員企業から課題提案、調査、見学、発表会) ②ISA会員企業からのオープンセミナーの開催 (情報交換や交流など含む) ③石川県内市町の共同研究プロジェクト立上げ (例: 交通関連[自動運転]、教育関連[心のケア])
令和7年度	社会実装を見据えた 共同研究	地元(石川,金沢)の社会生活における課題に対する社会実装 に向けた共同研究(人材育成を含む)

交流イベント(例)

◎交流イベントの実施期間は、**2/15(木)～3/20(水)**迄でご検討願います。

- ・ オフィスや工場などの見学
- ・ 自社製品のデモンストレーションやテクノロジーの紹介
- ・ グループワーク(企業および学生同士の交流で絆を深める)
- ・ 短期の業務体験
- ・ 情報交換や交流を目的とした懇親会など

(ご参考:事前予告)令和6年度4月～

(別途、2024年3月募集予定のため、参加有無をご検討願います。)

- ・ 金沢大学 融合学域(スマート創成科学類2年生)の講座『**アントレプレナー演習**』の中で、ISA会員企業が「企業課題の提案、企業内の見学・調査の受入れ、発表会」に参画する。
(開講2024年4月～、講座回数: Q1:8回、Q2:8回)
★ただし、[企業の課題]と[学生の取り組みたい課題]のマッチング成立が必要となる。

例1

- ・テーマ : 「施設の裏側を見れる特別見学ツアー」
- ・目的 : 学生に会社の各種現場を見学して深く知ってもらい、会社や技術などに興味を持ちや就職に繋げる。
- ・内容 : ①会社の歴史、理念、製品・サービスの事前説明
②説明ガイドと共に、オフィス、開発室、試験室、製造ライン、研究施設などを見学する。
※社員とのカジュアルな会話／交流もOK
③Q&Aタイムで、学生の不明点などに社員が答える。

例2

- ・テーマ : 「商品企画会議の体験会」
- ・目的 : 学生に実際の商品開発プロセスの一端を体験させ、企業の企画力やチームワークの大切さを理解してもらう。
- ・内容 : ①学生チームに商品開発のテーマを与える。
②アイデア発想のためのフレームワーク(例:ブレインストーミング、マインドマップ)を提供する。
③学生チームがアイデアを共有し、実行可能な企画案を作成する。
④学生チームが企画案をプレゼンし、審査員(企業の社員)からフィードバックを受ける。

